

さぬき市



さぬき市は、2002年4月1日に大川郡の津田町、大川町、志度町、寒川町、長尾町の5町が合併して誕生しました。人口は約4.5万人、面積は約158km²です。北部には瀬戸内海国立公園の津田の松原、南部には四国霊場八十八ヶ所の第88番札所である大窪寺があり、結願の寺として有名です。さぬき市の消防団は19分団と女性部で構成され、「自らの地域は自ら守る」という郷土愛護の精神で活動しています。



さぬき市TOPICS

- ★地元の花火大会や防災訓練の際にも、警戒や指導を行っています！
- ★令和5年度に開催された県内初となる水を出しての操法大会で優勝しました！
- ★女性団員も広報・啓発活動を行っており、住宅用火災警報器PR活動や紙芝居を主軸としています！



団員 interview

【大川方面隊第2分団】
遠山 豊さん



■消防団としてどのような活動をしていますか？

地域の安全を守るため、日々奮闘しています。平成16年の台風時には川の氾濫で消防車がなかなか現場に着けず、最終的にはかなりの距離を歩いて現場へ向かいました。家が流された人もおり、とても壮絶な現場でした。令和5年度の県の操法大会で約3カ月間の練習の成果を発揮し優勝できたことは、大きな達成感を感じた活動の1つです。

■消防団活動の魅力は何ですか？

消防団の魅力は、人との出会いです。年齢や職業に関わらず、入団していなければ関わることのなかった人と出会い、仲間として活動していることはとても貴重な経験です。私自身、6つ下の後輩団員と仲が良く、徳島県までラーメン巡りに出かけることがあります。

■消防団への入団を考えている人にアドバイスをください！

災害時の活動は、正直大変なこともあります。活動全体で考えると楽しいことも多いです。特に、地域のコミュニティなので、仲間とのコミュニケーションを通じていろいろな情報を知れたり、悩みがある際は相談することもできます。人脈を広げたい方にも、消防団活動はとてもおすすめです。

消防団の活動状況



入団式

毎年4月と10月に新入団員の入団式が開催されます。ふるさとを守るために入団してくださる方を心よりお待ちしております！



消防出初式

毎年1月初旬に造田野間運動広場にて行う消防出初式には、400人を超える消防団員が参加します。



災害対応訓練

消防車両や放水についての訓練を実施しています。1日で全てを理解することは難しいですが、月2回の点検日等に繰り返し作業することで資機材の取扱い方が上達しています。